

事業報告書 (No. 24)

1 支援団体名	火山都市国際会議島原大会実行委員会
2 事業名称	第5回火山都市国際会議島原大会
3 実施日時	平成19年11月19日～23日
4 実施場所	島原復興アリーナ・普賢岳災害記念館
5 事業目的、内容及びその効果	<p>(事業実施状況・内容)</p> <p>「火山と共生する都市づくり」をテーマに、日本の防災への取り組みや経験及び火山研究の成果を紹介し、世界の研究者と意見交換を行うため、学術シンポジウム及び住民・行政によるフォーラム等を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火山砂防と減災フォーラム ・火山市民ネットフォーラム ・災害教訓の継承に関するフォーラム ・こども火山発表会 ・火山学Q&Ain島原
	<p>(実施事業効果)</p> <p>アジア初の開催であり、日本・島原からの情報発信として、雲仙普賢岳噴火災害を機に導入された無人化施工をはじめ、日本の最新技術の紹介を行うなどし、好評を博した。通常の防災啓発活動と比して、大きな効果があった。</p>
6 参加内訳	総人数 2,720名
	(1)主催者参加 20名
	(2)日本人参加((1)を除く) 2,434名
	(3)外国人参加((1)を除く) 266名
7 今後の方針	<p>会議の総括と今後の提言をまとめた「平成新山アピール」を発表した。</p> <p>また、本国際会議の成果をもとに今後もさらなる防災啓発活動を継続して行っていく。</p>

火山都市国際会議



火山都市国際会議

